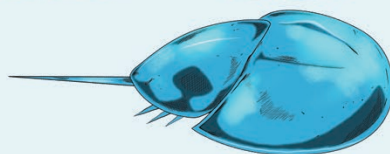


まなべ陽子のかぶとがに通信

市議会だより 9号 令和6（2024）年 10月発行

- P.1 笠岡市の財政状況について
P.2 P.3 個人質問について
P.4 日々の活動より 他



皆さまから厚いご支援をいただき、2024年4月29日より2期目を務めさせていただいています。これからも真摯に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

【笠岡市の財政状況について】

笠岡市ではこれまで毎年9月に「笠岡市財政運営適正化計画」(※1)を策定しています。(毎年度見直しあり)
2023年9月「令和5年度版笠岡市財政運営適正化計画」において

令和6年以降は、企業誘致のための補助金や焼却場建設費の負担金、大規模なハード事業の実施などにより、令和7年をピークに0.9億円から3.9億円の財源不足が生じる見込み

とありますが、新市長は

- ・この見通しが甘かったこと
- ・来年度には財政調整基金(※2)が底をつく見込みがあるなど、市の財政状況が極めて危機的な状況であること
- ・「身の丈にあった」財政運営が必要であること
- ・収支改善目標は13億、大型ハード事業計画(※3)の見直しなどで予算の削減を行い、未利用地・施設の売却、公共施設使用料の見直しなどを行うことで歳入を確保する

と発表しています。

一方で、建て替え計画が進んでいる笠岡市立市民病院は、事業費がほぼ変わらないとして既存棟を一部利用する従来の計画から、4階建ての新病棟建設へと見直しを行っています。

耐震基準を満たしていない市役所本庁舎についても早期の建て替えを目指す、としています。

現在、笠岡市においては抜本的な財政改善に向けてプランを作成中、11月中には具体的な事業の見直し案などを発表される予定です。

新市長のもとで発表されるプランを精査し、笠岡市民の暮らしに本当に必要なものは何かを熟議

しなければなりません。新しい笠岡市の形について、行政、市民、議会が一体となって考えていかなければなりません。

※1 笠岡市財政運営適正化計画 →



※2 財政調整基金とは

地方公共団体が年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てている積立金。家計に例えると貯金のようなもの。財源に余裕のある年度には積み立てを行い、大規模災害の発生や大幅な税収減などがある年度に取り崩しを行う。

※3 大型ハード事業計画とは

施設一体型小中一貫校整備、JR笠岡駅の南口設置など

🍲 真鍋の視点 🍲

～本庁舎建て替えについて～

本庁舎については重要な防災拠点でありながら耐震性が脆弱であり、万が一があった場合、市の責任は重いと考えており、令和6年3月定例会個人質問においても質問をしました。その際には「公共施設の大規模な建て替えについては市民病院や小中一貫教育校を優先して行う」と答弁があり、非常に残念な思いでいました。

一転、令和6年6月定例会代表質問においては「喫緊の課題として最優先で取り組まなければならない」との答弁があり安心するとともに、とはいえ今後は財源の確保が大きな課題です。

令和6年9月定例会における令和5年度決算認定要望においては新庁舎建設の早期実現について言及がありました。

天災は忘れた頃にやってくる。と言われますが、最近では忘れるまもなくたびたび起こっている大災害は、決して人ごとではありません。災害対策には自助、共助、公助という視点が大切ですが、万が一が起こった時にまず「公」が倒れないように、しっかりと備えていかなければなりません。

笠岡港(住吉)駐車場

おもいやり駐車場スペースにヘルプマークの表示が入りました。対象の方はぜひ、ご活用ください。



ほっとパーキング岡山

妊産婦（多胎児）の利用期間

妊娠5ヶ月から産後3年までに延長されています。

令和6年（2024）6月定例会

- ① 「子どもを守る」について
- ② 「暮らしを支える」について
- ③ 「まちを整える」について



【「子どもを守る」について】

学校規模適正化、令和の日本型学校教育について今後の具体的なプランやスケジュールは。

答 教育長より

市内全体の出生数及び人口推計等を勘案しながら、スピード感を持って小・中学校の学校規模適正化計画を改訂したい。令和の日本型学校教育を参考にしながら学校教育ビジョンを設定し、学びを変えることを柱の一つとして事業改善を進める。

保育施設の見直しについては縮小する場合、それぞれ個性豊かな各民間施設をできるだけ残すことが良い方向性だと考えるが。

答 市長より

民間事業者がしっかりと保育施設、子育て施設を運営していただくことを一番と考えている。

今後行政運営において権利の主体でもある子どもたちの意見をどのように反映させていくのか。

答 市長より

真鍋議員がおっしゃる権利の主体でもある子どもたちの意見を市政に反映することは大変重要と考えているので、第3期笠岡市子ども・子育て支援事業計画作成策定にあたり、小・中高校生への意見聴取のためのワークショップ実施を予定している。

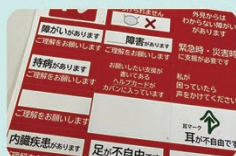
【「暮らしを支える」について】

本市においては現在障がい児の移動支援事業において、小学校・中学校・高校への送迎、スクールバスのバス停までの送迎は利用できないが、県内他市・県外では利用できる自治体もある。今後、利用が可能になる見通しはあるか。

答 健康福祉部長より

今後、実態を把握し、事業実施に向けた課題の整理を行う中でサービス利用の仕組みについて考えていく。

笠岡市ではヘルプシールの配布が始まっています。ご入用の方はぜひ、ご活用ください。



問い合わせ先 地域福祉課 0865-69-2133

【「まちを整える」について】

市役所庁舎は災害時に市民の安全を守る防災拠点として重要な役割を担う施設でもあるが、昭和31年に竣工し、もうすぐ70年が経過する。老朽化が激しく、平成25年実施の耐震診断では耐震性能が低いとの結果が出ているが建物のコンクリート強度が不足しているため、耐震補強工事もできない状況。令和元年度、新庁舎検討プロジェクトチームが立ち上がっている。南海トラフ巨大地震の発生確率は10年以内では30%程度、30年以内では70%から80%であり、本市においてもできるだけの防災・減災対策を行うことが急務だと考えている。本庁舎建て替えについて、どのように考えているのか。

答 市長より

庁舎建て替えは喫緊の課題。防災の拠点となるように建て替えを最優先として考え、大型事業のロードマップを今後敷いていきたい。

令和6年6月定例会で可決した
主な予算、請願についてはこちら



令和6年9月定例会で可決した
主な予算、請願についてはこちら



真鍋の視点

～新しい市政に女性の期待が集まっています～

令和6年4月14日投開票の選挙は、市長選は現職と新人の一騎打ち、市議選は現職14名、元職を含む新人10名計24名で20議席を争うという激戦の末、4年前の同時選挙より7.43%投票率が上がる結果となりました。

これは市政に対する市民の関心が明らかに高まっていることの現れです。市民は笠岡市政初の女性市長、そして元職を含む新人7名を迎えた新しい市議会に大いなる期待を抱いています。選挙管理委員会からいただいた資料から今回の投票率を読み込んでいくと、74歳まではほぼ、女性の投票率の方が高いです。

男性の投票率に比べて女性の投票率が最も高いのは

19歳 18.73ポイント、女性の投票率が高いです。

18歳 では、15.55ポイント、女性の投票率が高い。

選挙権年齢が引き下げられたのは平成28年6月からなので、残念ながら18歳、19歳についてのデータはないのですが、20歳から24歳、25歳から29歳までのデータでは、8年前の平成28年同時選挙より、令和6年同時選挙の方が、投票率が高い。

この結果から私は、今回の選挙では、若い方々から、特に女性からの大きな期待が寄せられていると考えています。これからの笠岡市をよりよい地域にして欲しいという若い方々、そして女性たちのこの大きな期待を、市長はもちろん市議会議員一同しっかりと受け止めて、取り組んでいかなければなりません。

令和6年（2024）9月定例会

- ① 令和6年4月14日投開票笠岡市長選挙、笠岡市議会議員選挙について
- ② 人口減少下における新たな地域づくりについて
- ③ 男女共同参画社会に向けて

個人質問動画は定例会終了、約1か月後、YouTube上にアップロードされています。ぜひご覧ください。

【 共通投票所の開設、投票のための移動支援について 】

滋賀県長浜市では選挙当日、どの投票所でも投票できる共通投票所を開設、タクシーや巡回バスで無料送迎する移動支援が実施されている。笠岡市においても検討できるか。

答 笠岡市選挙管理委員会委員長より
投票環境の利便性向上に有効だが、ミスの防止や費用、人員確保など課題も多い。
事例研究をしながら検討を進めていく。

【 デジタル地域通貨について 】

令和5年度実施のプレミアム付商品券事業では、約3億円の商品券販売に対し、印刷や郵送、人件費など事務的経費として約4,500万円のコストがかかっている。デジタル地域通貨導入が実現、様々な助成金や補助金に活用すれば、大幅な経費削減が期待できる。健康ポイントやボランティアポイントなど様々な行政活動への参加に対するポイント付与も簡単になる。また、出産、子育てに関する給付金をデジタル地域通貨で支給している自治体も多くある。行政コスト削減ツールとして、地域内経済循環、持続可能な地域づくりツールとしてのデジタル地域通貨導入について見解を尋ねる。

答 デジタル政策監より
議員の言うようなメリットがある一方、運用管理コストの高さ、利用者の理解が必要といったデメリットもある。現在、導入に対する可能性を含めて研究している。

【 パートナースhip・ファミリーシップ宣誓制度～事実婚への対象拡大について 】

岡山市や真庭市では異性の事実婚も対象にしている。多様な生き方の選択肢を増やすため、笠岡市においても事実婚について対象拡大ができないかを尋ねる。

答 市民生活部長より
異性の事実婚に関しては婚姻という選択肢が残されている。制度の対象を事実婚に拡大することは現在考えていないが、他市の

事例研究は行っていく。

同制度については県内11市町村で連携協定を結んでいる。相互利用の利便性を高めるためにも事実婚を加えていただきたい。

真鍋の視点

財政が厳しい今だからこそ、行政にとって費用負担がほとんどないのであればなおさら、少しでも市民サービスを拡張してほしい。そんな取り組みこそ、新市長には前向きに、どんどんやっていただきたい。

【 笠岡市独自の人事評価について 】

産休育休期間に対して一定の評価を与えることはできないか。これについて話をすると最初は皆さん「それはいい!」とおっしゃる。そして少し考えた後、「やっぱり無理だね。」と話される。その、いいという直感と、思考の末の無理だとあきらめる言葉の間にあるものを解像度をあげて分析し、笠岡市独自のよりよい人事評価をつくりあげて欲しいが、できるだろうか。

答 総務部長より

現状の人事評価においては一定の評価を与えることは難しい。しかし、職員が育児等により得た経験が復職後の業務に生かされることもあり、このことにより発揮された能力や上げられた業績は当然に評価されるものだ。現在、人事評価システム研究委員会を立ち上げ、人事評価制度の見直しを進めている。より本市になじむ人事評価制度となるよう議論をし、研究委員会の素案を基に新たな人事評価制度の構築をしていく。

真鍋の視点

デジタル地域通貨については、令和3年6月、令和4年9月、令和6年3月に引き続き4度目の質問。コロナ後の社会を見据え、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金がある時期に取り組んでいただきたい、という意図のもと早い時期から質問をしてきた。執行部の回答は、当初からは変化。始めは「導入、維持管理などのコスト、大手キャッシュレス決済サービスとの競合、利用可能場所などが限定される不便さや地域でしか使えないデメリットを払拭するほどのインパクトが必要、広域連携の枠組みで活用するほうがメリットが大きく、福山市や倉敷市が主体的に動くべき事業。導入は考えていない。」という回答だった。年月を経て市長、執行部の理解が徐々に進んできていることは喜ばしいが、もっと早く必要性に気づき、財源があるうちに検討、実証実験を始めて欲しかったという気持ち拭えない。とはいえこれからでも遅くはない。地域に必要なことは何か、しっかりと研究していただき、時期を見計らって導入していただきたい。



日々の活動より



みんなの自治講座
女性議員たちと
語る未来 登壇
(2024.7.7 労働福祉会館)



びんご未来ワークショップ 参加
(2024.7.15 福山市役所)



岡山市議会議員女性の会
代表者会議 参加
(2024.8.22 倉敷市議会)



装着型サイボーグHAL体験会
見学 (2024.9.21 笠岡市民病院)



北朝鮮による日本人拉致問題と
最近の北朝鮮事情 参加
(2024.7.14 中央公民館)



厚生産業委員会管内 視察
(2024.7.19 笠岡湾干拓地内)



笠岡港まつり花火大会開催され
ました。 (2024.8.24)



学童保育施設 視察
(2024.10.9 倉敷市内2施設)



真鍋の視点

～投票率を支えているものってなんだろう？～
日本国籍がある18歳以上の方であれば、ほとんど誰もが手にしている1票。

ですが、それは当たり前のことではありません。

日本において財産に制限のない普通選挙が実現したのは1928年。とはいえ当時投票できたのは25歳以上の男性のみ。女性が参政権を得たのは1945年。

選挙権年齢が18歳に引き下げられたのは、2016年。

選挙権って、当たり前にあるものじゃないんですよ。守るためには、不断的努力が必要なんですよね。

真鍋が2020年4月初当選後、選挙のたびに投票率分析をしてきているのは、当時年々下がる一方の投票率の低下を憂え「このままでは普通選挙がなくなってもおかしくない」という危機感をじわっと感じていたためです。

【投票率を支えているものって、なんだと思いますか？】

(立候補者《あるいは所属政党》の政策の質や量

+ 立候補者の想いやビジョンの総量 + α)

× 立候補者の地道な活動や情報発信の総量

= 議員や政党への期待や信頼

+ (学校教育 + 家庭教育 + 社会教育 + 生涯教育 + α)

= 主権者教育

+ (地域活動 + 社会運動 + 市民運動 + 消費者運動 + α)

= 人とのつながり

などなど、分析しています。

あなたが投票したいと考え行動する、原動力はなんですか？
背景はなんですか？

あなたには、変えたい今はありますか？

どんな未来を、楽しみに待っていますか？

その想いを胸に、投票に行ってみませんか？



岡山市議会5人会派『みらいえ』
会派控室を訪問しました。



みどり岡山定例会
毎月オンラインで参加しています。



岡山県年金受給者協会倉敷西・西部支部
生き生き演芸大会 出場しました。

まなべ陽子市議会だより
「かぶとがに通信」へ
ご意見・ご要望・ご提案など
お聞かせください。どうぞ
よろしくお願いいたします。



manabeyoko.kasaoka@gmail.com



ホームページ <http://www.manabeyoko-kasaoka.org>

ブログ <http://blog.livedoor.jp/manabeyoko>

Facebook <https://www.facebook.com/manabeyoko>

Instagram https://www.instagram.com/manabe_yoko_k

TikTok www.tiktok.com/@manabeyoko



【入会団体・賛同団体】

みどり岡山
自治体議員政策情報センター虹とみどり
気候危機・自治体議員の会
立憲主義と地方自治を守る議員の会
岡山市議会議員女性の会

【所属している委員会・組合議会】

厚生産業委員会
予算決算理事会
議会運営委員会
岡山県西部環境整備施設組合議会
岡山県西南水道企業団議会

【これまでに所属した委員会・組合議会・審議会】

総務文教委員会 議会・行政改革特別委員会
笠岡市都市計画審議会 岡山県笠岡市・矢掛町中学校組合議会
岡山県西部地区養護老人ホーム組合議会